

水鏡一口徑六寸五分、深一寸五分、料略○中、和炭一石二斗○中略

盤一口徑七寸五分、料略○中、和炭八斗○下略

〔延喜式四十九卷、左右兵庫〕凡踐祚大嘗會新造神楯四枚○中、面金四枚長各四尺、厚一分、料略○中、和炭十二石○中略

六寸平釘六十四隻楯別十隻、六隻、料略○中、和炭五石○中、並申官請受、

〔續々修東大寺正倉院文書四十五帙〕雜材并檜皮及和炭納帳

九日○天平寶字、六年三月、收納和炭卅九石四斗、燒夫卅八人

右自正月廿四日迄二月廿二日、燒炭總今日納如件

主典安都宿禰 下道主

十七日收納和炭壹斛陸斗

右十六日料額田部馬万呂燒進依員檢納如件

主典安都宿禰 下

〔枕草子八〕こゝろもとなき物

とみにいりずみおこすいとひさし、

〔類聚名物考調度十八〕かたき炭

堅木炭歟、またきは詞にてたゞ堅炭をいふ歟、清濁にて三ツの意有り、今も椿檜などにて焼たる

炭をば堅木の炭といふ事有り、

〔明和八年武鑑〕松平安藝守重晟安藝廣島、時獻上十月細炭

〔明和八年武鑑〕北條豊吉河内狹山、時獻上十月白炭

〔皇都午睡三編上〕上方にて買て来るを、江戸にては買て来る○中、切炭を佐倉炭

〔明月記〕承元二年十月十一日、曉更羽林出京侍十五人童調度懸皆騎馬云々、又八條後家興三位具